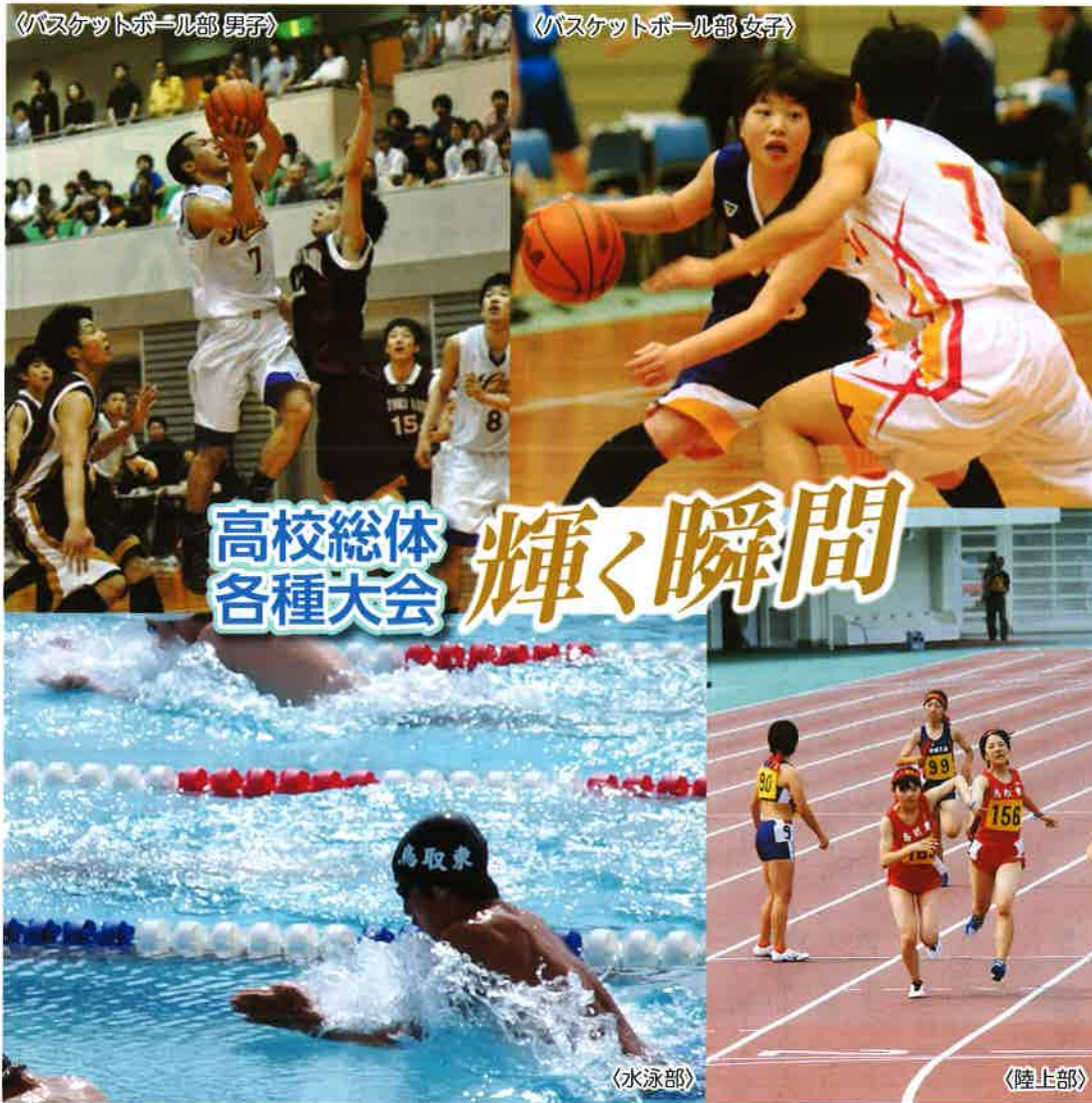




詳しくはP.4・5に掲載

鳥東高通信

第158号

平成26年7月

編集・発行

鳥取県立鳥取東高PTA
鳥取東高等学校

印刷

日ノ丸印刷株式会社



就任のあいさつ

PTA会長 宇田川 和人

このたび四月二十六日のPTA総会におきまして、前石谷会長の後任として重責を担うこととなりました。

本年度のPTA事業につきましては、昨年同様に各部を中心に計画しておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

「累積による誤謬」という言葉をご存じでしょうか。これは「一つ一つは正しいように見えるが積み重なると間違っている」という意味です。PTA活動には、義務教育時代と違い、保護者の関心が低くなりがちです。高校生活は、進学や就職といったさらに広い社会に出るまでの最後の三年間です。PTA活動を通して自らが学び、積み重なった日々の先にある子どもたちの将来を考え、成長を支えて行ければと思います。

六年後には東京オリンピックが開催される予定です。鳥取東高卒業生が関わることもあるかも知れません。その時、母校・郷土に誇りを持って、おもてなしができるような人に成長していただきたいと思います。そして、そういった成長過程に少しでもPTA活動が寄与できたらと思いますので、会員の皆様のご支援とご協力をお願いいたします。



自立した東高生

校長 藤原 辰広

平成二十六年から三十年度の鳥取県教育振興基本計画の基本理念が「自立して心豊かに生きる 未来を創造する 鳥取県の人づくり」として示された。その基本理念を支える一つが「自立して生きる力」である。具体的には、①生きていくために必要な知識、技能、教養を備え、学び続ける姿勢 ②主体的に考えて判断し、他者と協働しながら課題を解決していく力 ③志を高く持ち、自らの夢を描きながら粘り強く挑戦し、実行していく力が掲げられている。

本校でも高い志を持ち、主体的に学び続ける学習者の育成に力を注いでいる。初代校長の林重浩氏は職員への訓示で「勉強は自学自習を第一歩として、依頼心を捨てて独自に学習しなければならないことをたたき込んでほしい。」と述べている。

現在、本校においては、生徒の手を離すために手をかける指導を実践しているが、卒業まで手を離せないのが現状だと感じている。だが、ゆっくりとでも確実に成長していけばよいのでは、と思っている。将来、自立して社会を生き抜く大人になるための訓練をしている、という自覚を個々の東高生が持っていればよいのではないか。

平成26年度

PTA活動紹介

文化広報部

部長 志和 智恵



文化広報部は、この『鳥東高通信』の発行と『しののめVoice』のホームページ掲載

をしています。保護者や生徒の皆さん、そして卒業した同窓生の皆さんに、鳥東高の元気な「今」をお伝えしたいと考えています。

『鳥東高通信』は年四回、高校総体や東高祭のような大きな行事はもちろんのこと、PTA活動の紹介や進路情報なども取り上げて発行しています。

『しののめVoice』は、ホームページのPTAコーナーで、各種講演会や行事についての報告や進路セミナーでお寄せいただいたご意見・ご感想などについて載せています。

生徒や保護者、そして先生方、みんなの思いが一つにつながるような情報提供ができる

研修部

部長 清水奈緒美



平成二十六年度の研修部は、経験豊富なメンバーを中心に、

親子共々にたくさんの方の学びや体験・知識を広める場をもうけ、皆さまと共に考え、成長出来る幅広い活動をしていきたいと思っています。

本年度の最初の取り組みとして、岩手の陸前高田市から講師（村上有朗氏）をお招きして、講演会を開催しました。

自らの目で耳でお話を聞くことは、考える事への第一歩です。そこから、自分に出来る小さな何かが見えてくるかもしれ

ません。

また、継続して学校休業日である土曜日にも学習の場を提供するため、研修部をはじめとしたPTA評議員で自習室の監督を行います。自習室は環境が整っており「静かに勉強できる部屋」です。開放日をしつかり案内しますので、生徒の皆さんに今年も積極的に活用していただきたいと思っています。

そして、恒例になりました学年に合わせた「保護者のための進路セミナー」や昨年度の好評新企画「大人の遠足（社会見学）」なども開催予定をしています。ご期待ください。

子どもと共に、私たち親もかけがえのない日常を楽しんでいきましょう。一年間、どうぞよろしくお願い致します。

健康・生活部

部長 西村 聖子



健康・生活部の部長をさせていただくことになり少し戸惑っ

ていますが、先生方や部員の皆さんと協力しながら楽しく活動

していききたいと思います。

主な活動は、高校生マナーアップ運動・自転車マナーアップ運動・生活習慣の改善啓発運動などです。

昨年は、一、二年生を対象に「生活習慣に関するアンケート」を行い、現在の高校生の生活の様子や問題点を知ることができました。

今年は、昨年の活動を元に、子ども達が心身ともに健康で、楽しく充実した高校生活を送ることができるよう、少しでも手助けすることのできる活動をしていきたいと考えています。一年間、どうぞよろしくお願い致します。

人権教育部

部長 中田 三巳



今年度の人権教育部長の部員は十六名で、担当の副会長も含

め、みな意欲的で活気があります。先生のお力をお借りしながら、一年を通していろいろなことにチャレンジし、多くのことを吸収していききたいと思います。

ます。

人権教育部では、今年も自主学習会を計画しています。木曜日の夜と土曜日の午前中に、交互に開催を予定しています。場所は「しののめ館」。みなさんとの出会いを楽しみにしています。第一回目は、「人権ってなんだろう」という基本に立ち返って、意見交換したいと考えています。ぜひ、ご参加ください。

私も含め多くの人たちにとって、人権を意識しながら暮らすということは少ないかもしれませんが、実は日常生活の中で深く考えないで過ごしていることが案外多いのかもしれない。身近なことから社会的な問題まで幅広くテーマとして取り上げていきたいと思っています。案内が届きますので、よろしくお願ひします。

更新中!!

クリック! クリック!

しののめ
voice

みんなの心の交流ページ

http://www.tonkyo.ed.jp/tonie-h

平成26年度 鳥取東高校PTA常任評議員

役 職	氏 名	クラス
会 長	宇 田 川 和 人	2 年 7 組
副 会 長	福 井 悦 生	3 年 5 組
副 会 長	間 屋 口 秀 明	3 年 6 組 1 年 5 組
副 会 長	木 村 聖 治	2 年 1 組
副 会 長	上 田 千 鶴	1 年 7 組
監 査	西 村 隆 義	3 年 8 組
監 査	荒 木 浩 司	2 年 5 組
監 査	横 山 茂	1 年 2 組
健康・生活部長	西 村 聖 子	3 年 3 組
健康・生活副部長	奥 根 朗 子	3 年 6 組
健康・生活副部長	田 住 祐 子	2 年 5 組
健康・生活副部長	邑 上 久 美 子	2 年 5 組
研 修 部 部 長	清 水 奈 緒 美	3 年 1 組
研 修 部 副 部 長	河 野 由 美 子	3 年 2 組
研 修 部 副 部 長	中 原 里 美	2 年 3 組
研 修 部 副 部 長	稲 村 潤 一	1 年 4 組
人権教育部部長	中 田 三 巳	3 年 1 組
人権教育部副部長	松 尾 陽 子	3 年 2 組
人権教育部副部長	根 本 文 子	2 年 6 組
人権教育部副部長	大 江 利 弘	1 年 7 組
文化広報部部長	志 和 智 恵	3 年 5 組
文化広報部副部長	網 谷 憲 治	2 年 6 組
文化広報部副部長	影 井 利 成	1 年 1 組

新PTA役員



上副 木副 間副 福副 宇会
田会 村会 屋会 井会 田会
千会 聖会 口会 悦会 川会
鶴会 治会 明会 生会 和人

平成26年度 各種表彰者

PTA会長表彰

前田 知彦	文化広報部部長	(平成25年度)
鯖田 操	文化広報部副部長	(平成24・25年度)
山根登代子	人権教育部副部長	(平成23年度)
	副会長	(平成24年度)
今度 珠美	人権教育部副部長	(平成24年度)
	副会長	(平成25年度)
岩下由紀子	健康・生活部部長	(平成25年度)
山名佐智子	健康・生活部副部長	(平成24・25年度)
坂本 武夫	健康・生活部副部長	(平成23年度)
稲村 志延	健康・生活部副部長	(平成25年度)
木嶋 哲人	研修部副部長	(平成24年度)
	研修部部長	(平成25年度)
入江 裕之	研修部副部長	(平成23年度)

県高P連会長表彰(11月表彰予定)

石谷 充	会 長	(平成23・24年度)
橋詰 勝人	文化広報部副部長	(平成23年度)
	文化広報部部長	(平成24年度)
	副会長	(平成25年度)
兼平 恵	副会長	(平成23～25年度)
松田 悟	監 査	(平成23～25年度)

クラス担任の紹介



2年団

前列右より	2-1	薩 雄也(国語)
	2-2	森 希(英語)
	学年長	田淵久美子(英語)
	2-3	桃木 貴子(英語)
	2-4	徳田 千春(国語)
後列右より	2-5	堀内 誠(理科)
	2-6	三浦 隆(地歴公民)
	2-7	矢部 敦子(数学)
	2-8	宮脇 進(数学)



3年団

前列右より	3-1	岡本 尚也(英語)
	3-2	小屋本るみ子(国語)
	学年長	瀧下 英樹(国語)
	3-3	木下 和成(数学)
	3-4	濱橋 一孝(英語)
後列右より	3-5	本庄 大志(地歴公民)
	3-6	田中 典之(理科)
	3-7	木村 憲之(数学)
	3-8	野澤 雅宏(理科)

高校総体 各種大会 結果

平成26年度鳥取県高校総体が、
5月～6月に開催されました。
鳥東高生の健闘結果をご報告いたします。
また、文化部の活躍もどうぞご覧ください。

陸上競技	男子	米井 龍 (3-7) 砲丸投 2位、八種競技 1位	中国大会出場
		細川 堯 (2-7) やり投げ 6位	中国大会出場
	女子	北脇 亮子 (2-1) 1500 m 4位、3000 m 6位	中国大会出場
		言水日向子 (3-2) 800 m 6位	中国大会出場
バスケットボール	男子	優勝	インターハイ出場
	女子	3位	
バレーボール	男子	準優勝	
	女子	準優勝	
卓球	男子	【団体】 ベスト 8	
		シングルス 津村 陸斗 (1-7) ベスト 16	
		三崎 加惟 (3-6) ベスト 32	
		中島 健輔 (1-6) ベスト 32	
		ダブルス 三崎 加惟 (3-6)・津村 陸斗 (1-7) ベスト 16	
		漆原 正弥 (3-6)・中島 健輔 (1-6) ベスト 32	
	女子	予選リーグ 2位	
		シングルス 仲川 知花 (3-4) ベスト 32	
		千村真優華 (3-7) ベスト 32	
		ダブルス 仲川 知花 (3-4)・千村真優華 (3-7) ベスト 16	
ソフトテニス	男子	【団体】 ベスト 8	
		ダブルス 寺坂 勇汰 (3-7)・浦田 空 (2-7) 17位	中国大会出場
	女子	【団体】 1回戦敗退	
		ダブルス 米山 唯 (3-3)・宮部 萌 (3-7) ベスト 16	中国大会出場
サッカー	男子	ベスト 8	
	女子	準優勝	
バドミントン	男子	【団体】 2回戦敗退	
		ダブルス 松田 朋也 (3-6)・林 祐太郎 (3-7) ベスト 16	
	女子	【団体】 2回戦敗退	
柔道	男子	【団体】 3位	
		81kg級 網谷 季昌 (2-6) 3位	
		90kg級 馬場隆之介 (2-5) 2位	
	女子	【団体】 3位	
		48kg級 中江 衣月 (1-4) 3位	
		52kg級 森本 早紀 (3-2) 3位	
		57kg級 香川日菜子 (3-3) 3位	
		63kg級 幸山なつみ (3-1) 2位	
		63kg級 高橋 唯 (1-1) 3位	
ボート	男子	舵手付き4人クォドルプル (下田・池田・井上・大西・上田) 4位	
		ダブルスカル (岸・中山) 2位	
	女子	舵手付き4人スカル (岡・長岡・杉森・内田・福田) 2位	
弓道	男子	【団体】 4位	
	女子	【団体】 8位	
テニス	男子	【個人】 徳永ともな (3-6) 5位	
	女子	【団体】 1回戦敗退	
		シングルス 桶谷 菜穂 (3-4) ベスト 16	中国大会出場



水 泳	男 子	学校対抗成績：優勝
		400m リレー 4 位
		800m リレー 準優勝
		400m メドレーリレー 4 位
		谷尾 雄大 (3-5)
		100m バタフライ 3 位、200m バタフライ 3 位
		西尾 真之 (3-6)
		100m 背泳ぎ 5 位、200m 背泳ぎ 5 位
		安藤 準一 (3-6)
		200m 自由形 6 位、200m 個人メドレー 6 位
		高田 悠介 (3-4)
		400m 自由形 5 位、1500m 自由形 3 位
		小谷 諒 (3-5)
		1500m 自由形 5 位
		上紙 啓 (2-8)
		100m 平泳ぎ 6 位、50m 自由形 8 位
		田住 駿介 (2-5)
		400m 個人メドレー 4 位、100m バタフライ 5 位
		荒井 祥旭 (2-2)
		200m 個人メドレー 8 位
		リ・グラディミル (2-7)
		400m 個人メドレー 5 位
		猪山 雅也 (1-1)
		200m 個人メドレー 4 位、400m 個人メドレー 3 位
		村上 怜 (1-2)
		1500m 自由形 1 位、400m 自由形 3 位
		青木 勇斗 (1-4)
		100m 自由形 5 位、200m 自由形 5 位
		小林尚太郎 (1-6)
		100m 平泳ぎ 4 位、200m 平泳ぎ 5 位
		山口 遼也 (1-6)
		100m バタフライ 6 位、200m バタフライ 5 位
		木原 悠太 (1-7)
		100m 背泳ぎ 7 位、200m 背泳ぎ 6 位

水 泳	女 子	学校対抗成績 優勝
		400m リレー 優勝
		400m メドレーリレー 優勝
		徳田 成美 (3-3)
		200m 自由形 6 位、400m 自由形 6 位
		志和 陽香 (3-5)
		200m 個人メドレー 1 位、400m 個人メドレー 1 位
		児島 浩子 (3-4)
		100m 背泳ぎ 7 位、200m 背泳ぎ 6 位
		井川 麗美 (3-1)
		400m 自由形 1 位、800m 自由形 1 位
		谷口 乃有 (3-8)
		200m 個人メドレー 4 位、800m 自由形 4 位
		茂上 愛可 (3-2)
		50m 自由形 5 位、100m 自由形 2 位
		池本 舞桜 (2-8)
		50m 自由形 6 位、200m 個人メドレー 2 位
		瀧山 美樹 (2-2)
		100m 背泳ぎ 6 位、200m 平泳ぎ 7 位
		中尾 千華 (2-2)
		100m 自由形 6 位、200m 自由形 2 位
		吉村 真子 (1-1)
		100m バタフライ 1 位、400m 個人メドレー 2 位
		土肥 瑞穂 (1-6)
		100m 平泳ぎ 5 位、200m 平泳ぎ 5 位
		吉田 百穂 (1-6)
		200m 自由形 1 位、400m 自由形 2 位

争がっている生徒は全員中国大会出場

平成26年度 鳥取県高等学校総合音楽会

邦 楽	第 61 回鳥取県高等学校総合音楽会	団体優秀賞 (第 2 位)	近畿高総文祭出場
吹 奏 楽	第 61 回鳥取県高等学校総合音楽会ソロの部	フルート独奏 東上 彩耶 (3-8) 優良賞	

平成26年度 その他の大会等の主な成績

書 道	第 7 回 全国高校生書道パフォーマンス選手権大会	予選通過	全国大会 (本選) 出場
放 送	第 61 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト 鳥取県大会	団体の部 【テレビドキュメント部門】 優秀賞	全国大会出場
		【朗読部門】 清末万里子 (3-8) 優秀賞	
		【アナウンス部門】 山崎 理世 (3-8) 最優秀賞	
演 劇	第 67 回鳥取県東部地区高校演劇発表会	最優秀賞	県大会出場
将 棋	全国高文祭 近畿高文祭将棋部門鳥取県予選	【個人戦】 山根 朋也 (3-8) 第 7 位	近畿高文祭出場
囲 碁	全国高校囲碁選手権大会鳥取県大会	【個人戦】 大田原和輝 (2-8) 第 2 位	全国大会出場



知っていますか？ 自転車マナー



近年、自転車利用者が主な原因となる交通事故は増加しており、自転車がいわば無秩序に歩道を通行したり、一時停止を守らなかったりなど、ルールを無視した利用実態が目立っています。

自転車による交通事故の抑制をはかるため、鳥取県道路交通法施行細則（公安委員会規則）の改正が行われ、平成23年10月1日から、自転車の傘差し運転などに罰則が科せられることとなっています。

	違反内容	罰則
1	傘さし・携帯電話使用	5万円以下の罰金
2	警音器を備え付けていない	
3	ヘッドホン等の使用	
4	二人乗り	
5	無灯火運転	
6	他の自転車と並進	2万円以下の罰金 または科料
7	信号無視	3ヶ月以下の懲役 または5万円以下の罰金

(参考:鳥取県警察HP「自転車の安全利用の促進」)

自転車安全利用五則を守りましょう。



① 自転車は、車道が原則、歩道は例外

道路交通法上、自転車は軽車両と位置付けられています。したがって、歩道と車道の区別があるところは車道通行が原則です。



② 車道は左側を通行

自転車は、道路の左側に寄って通行しなければなりません。



③ 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行

歩道では、すぐに停止できる速度で、歩行者の通行を妨げる場合は一時停止しなければなりません。



④ 安全ルールを守る

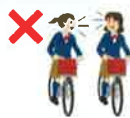
■飲酒運転は禁止



■二人乗りは禁止



■並進は禁止



■夜間はライトを点灯



■信号を守る



■交差点での一時停止と安全確認



⑤ 子どもはヘルメットを着用

児童・幼児の保護責任者は、児童・幼児に乗車用ヘルメットをかぶらせるようにしましょう。



(警察庁HP「自転車広報用ナシ」)

行事予定

7月
22日(火) PTA懇談会(午後)～24日(金) 一学期終業式
25日(金) 一学期終業式
26日(土) 夏期休業開始
28日(月) 夏期補講

8月
5日(月) 夏期補講(三年)～8日(木)
18日(月) 夏期補講(一・二年)～22日(金) サテライン講座～22日(金) 二学期始業式

9月
4日(木) 東高祭(～6日)
8日(月) 振替休日
11日(木) 校内模試・実力テスト(～12日(土))
27日(土) 土曜セミナー(全)

10月
1日(水) 中間考査(～3日)
5日(土) 土曜セミナー(全)
14日(火) 二年研修旅行(～17日)
29日(水) 校内模試・実力テスト(～30日)

11月
22日(土) 土曜セミナー(全)
25日(火) 期末考査(～28日)

12月
17日(水) PTA懇談会(午後)～19日(金) 二学期終業式
22日(月) 二学期終業式
23日(土) 冬季休業開始





信じる道へ向かって

——高橋 唯

初めての仲間。初めて体験することばかりの日々。憧れの東高での生活がスタートしてあつという間に三ヶ月が経とうとしている。勉強も部活も中学校と比べものにならないくらいハードで、いまさらながら高校生活の厳しさを感じている。

しかし、そんな厳しさの中でしか得ることできない東高生としての品格、プライド、学力があるとも感じている。

今、私には二つの目標がある。一つ目は、勉強と部活の文武両道を成し遂げることだ。そのためにも、限られた時間を工夫し、メリハリのある生活を心がけたい。二つ目は、当たり前前を当たり前前にやり遂げる「凡事徹底」の気持ちで大切に、自分から積極的に行動し、様々な人とのかわりを通して人間として成長することだ。東高で行われる様々な行事においても、自ら考え行動できる自分でありたいと思う。そして三年後、自分が進んできた道が正しかったと思えるように、まずはこの一年、全力で努力していきたいと思う。

親ばかになろう

——一年P 田淵 聡

この春、念願叶い鳥取東高等学校に入学したわが娘。
親ばかですが、わが子は受験勉強をよく頑張ったと思います。

人の親ばかは鼻につくの、いざ自分がその立場になると、人の親ばか以上のことを平気でやっていることに気付きます。

しかし、改めて考えてみると一生の内こんなことができるのはほんのわずかな期間であり、親ばかができることはたいへん幸せなことだと思います。

この高校生活三年間で、校訓にある「自らの責任を果たし 社会に尽くす心を持てる」子になるよう東高の先生と共に育てていきたいと思えます。そして、卒業後は自立できるよう今は、しっかり子どもと向き合いたいと思います。

最後に、PTA総会において、副会長がおっしゃられていた「いずれは子離れしなくてはならない十八歳までのあとわずかなこの期間はしっかりと掴んで放さないようにしましょう。」という言葉に刻み、実行していこうと思います。

自分に妥協せず

——二年 中村 朱里

私は、二年生へ進級してからの約二ヶ月間、部活を休部していましたが、部活に対して納得のいかないことがあったことをきっかけに、やる気が見いだせず、中途半端な気持ちで部活に参加しなくなっていたのでこの選択をしました。

休部中は学力をつけたいと思い、勉強に集中することにしました。学校が放課になれば部活もないので、

自分のしたいことが自由にできることにとても満足していました。しかし、その状態が続いたのは二、三週間程度のものでした。休部し、気持ち落ち着くと、気づけば部活への喪失感ばかりが増えていました。部活をしていたころは練習と課題に追われ、何となく過ごしていたからわからなかったけれど、部活から離れてやっと気づいたのです。部活があるからこそ、限られた時間をうまく使おうと思え、生活のバランスが保たれているのだと。部活のない毎日

は全然楽しくなくて、自分がどんな不甲斐なく思えました。
その後見に行った部活の大会で、みんなは大きく成長を遂げ、本当に輝いて見えました。そんなみんなを見ていて、もう一度同じ舞台に立ちたいと強く思われました。

私にとって部活はなくてはならないものでした。部活に戻るチャンスくれたみんなの気持ちに応えるためにも、自分に妥協せず、努力したいと思います。

他人の生活を支える

——二年P 網谷 憲治

一番上の子どもは社会人となり、自分自身も人生の折り返し点を過ぎてから数年経ちます。若い頃、自分の能力と努力だけでできたと思っていたことが、実は自分以外の人の尽力や偶然などによってできていたのだと思う今日この頃です。日々の普通の生活も同様であることを社会人になって約二十五年もたった今頃になって恥ずかしな感じがしています。

それは二年前より防犯・防災関係の業務に従事することになり、警察・消防・自衛隊の活動を目の当たりにすることが増え、これらの人々の休日夜間を問わない活動により、

自分の普通の暮らしが保たれているということを感じました。もちろん他の業種や地域での活動も同様です。

自分の生活は、他人の活動の上になり立っていると感じるとともに、自分の仕事も他人の生活を支えているのかと考えると、面倒なことでも少しは前向きに取り組める気がします。最後になりましたが、東高の先生方にも支えられている事に感謝です。

けがからの復帰

——三年 吉岡 翼

去年の夏、僕は部活のバスケットボールの練習試合で膝の大けがをしてしまった。病院の診察の結果、靱帯断裂だった。僕は手術をして、復帰に向けたリハビリを始めた。とても辛い日々だったが、早く復帰したい一心で耐えた。

そして、七ヶ月ぶりにチームの練習に加わった。体力がとても落ちていて毎日のように足がつった。しかし、チームメイトが頑張っているのを見ると、自分も頑張らなくてはという気持ちになり、乗り越えられた。失敗してうまくいかないときも声をかけてくれて、チームメイトには本当に助けられた。

そして六月一日、僕は十ヶ月ぶりにコートに立った。その結果、チームは優勝し、インターハイ出場を決めた。このチームに出会えて本当に良かった。苦しくて辛い時もあったが、このチームだったからこそ乗り越えられた。これからインターハイに向けて一生懸命練習して、一つでも多くの勝利を手にした。応援よろしく願います。

『泳ぐ』ために

——三年P 井川 僚子

「水泳部がない」が故に、地元中学への入学を拒み、あえて私立の中高一貫校に進んだが、「もともと泳ぎたい」の一心で、自ら転出進学先を鳥東高に決めた。公立中とは全く違うカリキュラムの中、受験勉強と練習を両立。毎日帰宅が二十二時を過ぎる中学生活を乗り切り、何とか入学した鳥東高生活は、練習拠点のプールと学校、下宿先を三角地点で結ぶ最高の環境の中で始まった。

早朝練習や身体的負担などを考え、日々ベストの体を保てるように三食賄って頂き、食事以外の身の回りのことは全部自分で行う生活となり、こんなに早く親元から離れることを想定もしていなかった私自身も水泳三昧にさせていたそれまでを反省した。入学後暫くは毎晩遅くにかかってくる電話に長時間付きあい、「熱が出た」「腹痛がひどい」そのたびに薬を持って大栄から車を走らせ、土曜の帰宅時には多量の洗濯物に閉口し、週明けには乾いた衣類を抱え、また車を走らす生活。

しかし、土日に枕を並べて寝ることが私の至福の時間となり、月曜日しか持たせられない弁当を始発列車に間に合うように、気合を入れて作ることに慣れた三年目。

「全国に行くため」に入学した鳥東高。一年生の時に幸いにも国体に出場させてもらったが、小学生から今までの間、出場する大会は一つとして欠かさず追っかけてきた母としては、だからこそ、高校最後のこの夏に娘の努力が大きく実ることを願ってやまない。そして、今まで支え見守ってくださった多くの方々に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。